

平成29年度事業計画

本協議会の設立趣旨に基づき、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応じていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

1. 社会的発信力の向上

- 1) 会員校の付属高校等に実施したアンケート結果から見えてきた「高校生の福祉離れ」の深刻な背景をふまえ、また、依然として厳しい福祉人材確保や福祉職の地位に関する問題なども視野に入れ、福祉・教育・労働分野を中心とした関係団体・省庁等と積極的に意見交換を行う。あわせて、社会的にインパクトを持つ取り組みの具体策について、他機関と連携して進めることも視野に入れて、検討を行う。【総務企画委員会】
- 2) 福祉系大学をとりまく厳しい環境をふまえ、関係大学が連携して課題に取り組むために、引き続き本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に取り組む。【総務企画委員会】
- 3) 協賛する「ソーシャルワーカーデー中央集会」を中心に、各地域や各大学においてもソーシャルワーカーの認知度及び地位向上の取り組みについて、連携を強める。【総務企画委員会】

2. 主要事業推進のための委員会の改組・新設と取組の強化

- 1) 主要事業を推進し、また新規課題にも対応するため、委員会の一部改組・新設を行い取組の強化を図る。

◎平成28年度をもって終了 就職・学生募集委員会 復興支援委員会

◎平成29年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会 【単独委員会として改組】
- ④学生募集戦略検討委員会 【新設】
- ⑤大規模災害対応委員会 【新設】

- 2) 課題解決に向けて会員校の連携をさらに図り委員会活動を強化するために、委員会の活動のあり方について改善を図る。

- ①必要に応じて、各委員会に幹事校の他、副幹事校を置く。
- ②会員校の希望をふまえ、各委員会への所属をすすめ、委員会活動の活性化を図る。

3. 各委員会の取り組みについて

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会と連携し、社会的発信力強化のための取り組みを推進する。とりわけ深刻な背景を持つ「高校生の福祉離れ」の解決に向けての具体策の検討について、注力して取り組む。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・社会福祉専門職養成を巡る動向を踏まえながら、養成課程のあり方や国家試験のあり方に関する関係方面への意見提出、社会福祉専門職養成教育の充実、認定社会福祉士制度への対応等に取り組む。

3) 就職委員会

- ・福祉現場の人材不足問題の解決が引き続き重要な政策課題になっている社会情勢をふまえ、各大学の学生の就職実態や就職指導の実際について共有を図り、福祉系大学が直面している就職課題に取り組む。

4) 学生募集戦略検討委員会

- ・マーケット分析や、福祉系大学の学募戦略上おさえるべき基礎データの共有を図り、それに基づき福祉希望者層の拡大に向けて、会員校が協働して取り組む委員会として活動を開始する。
- ・会員校の付属高校等に実施したアンケートの結果分析と共有をすすめ、「社会福祉の魅力発信プロジェクト」提案（別紙参照）をたたき台として、共同して実施する学生募集事業に取り組む。

5) 大規模災害対応委員会

- ・東日本大震災や熊本地震等での会員校の経験をふまえ、大規模災害時における福祉専門職の役割や大規模災害時に福祉系大学が地域において果たす役割等も視野に入れて、福祉系大学の今後の大規模災害対策と支援について学び合う委員会として活動を開始する。
- ・昨年度、熊本学園大学の経験に学んだ学習会を先行取組みとして位置づけ、取組を検討する。
- ・大規模災害が発生した際の会員校同士の相互連携・協力のあり方や具体的支援の方策、また、そのための事前準備等についても検討をすすめる。

以上